仕事の窓 10 【経済産業部】

ヘルスケア産業創出セミナーの開催

～沖縄におけるヘルスケアビジネスの拡大に向けて～

経済産業部企画振興課では、人口減少と超高齢化社会が進展する中、健康増進や医療費の適正化に加え、地域経済の活性化が求められていることから、生活習慣病を改善するきっかけ作りや、生活の質を高めるための癒しの提供などを可能とすることで、若年層からシニア層までを対象とする総合的なヘルスケア関連産業の創出に取り組んでおります。

当課ではその具体的な取組として、ヘルスケア産業振興などの任意団体である万国医療津梁協議会の産学金官ネットワークを活用した各種ビジネスマッチングによる新たなビジネスモデルの創出により、重層的なヘルスケアサービスの拡大を目指しています。

当事業の一環として、多様なヘルスケアビジネスの取組創出、ヘルスケア関連産業の活性化を目的として、2月28日に「ヘルスケア産業創出セミナー」を開催しました。講師として株式会社日本総合研究所リサーチ・コンサルティング部門マネージャーの志水氏をお迎えし、ヘルスケアビジネスの課題や可能性、今後の展開方法についてご講演いただきました。また、後半では、セミナー参加者からもそれぞれの事業内容について簡単にご紹介いただくとともに、沖縄において既にヘルスケアビジネスに取り組んでいる事業者同士の意見交換を通して、今後の連携可能性が期待できる会となりました。

沖縄でのヘルスケアビジネスの創出について講演する志水氏

セミナーでの参加者による意見交換の様子

仕事の窓 11 【開発建設部】

国道331号糸満道路完成開通

～南部地域へのアクセス向上～

1．国道331号糸満道路

国道331号糸満道路（糸満市西崎～真栄里　延長3・4㎞）は地域高規格道路である沖縄西海岸道路の一部を構成する幹線道路です。

糸満道路は、平成23年度までに糸満市糸満～真栄里（延長1・8㎞）が4車線で、糸満市西崎～糸満市糸満（延長1・6㎞）が暫定2車線で開通しておりましたが、今般、全区間において4車線化の工事が完了し、平成29年3月4日16時30分に全線完成開通しました。

2．開通により期待される効果

○糸満道路の走行性向上及び並行する現道の国道331号の交通量減少により、渋滞緩和や沿道環境の改善が期待されます。

○那覇空港からひめゆりの塔までの所要時間が約3割（約10分）短縮するなど南部地域の観光周遊の利便性向上により地域経済の好循環への貢献が期待されます。

○南部地域から那覇空港や那覇港までのアクセス性が向上し、物流企業の進出が進み地域経済の好循環に大きく貢献しています。

3．糸満高架橋を津波災害時の一時避難場所として活用

3月4日の糸満道路開通に先立ち、糸満道路の高架橋を津波災害時の一時避難場所として使用できるよう糸満市と南部国道事務所において「津波時における緊急避難場所の使用に関する協定書」が締結され、その後、地元の小学生や地域住民を対象に避難訓練を行いました。糸満高架橋が一時緊急避難場所として地域の方々に認識され、役立つことが期待されます。

全線完成開通した糸満道路

避難訓練の様子